

研究課題名	心不全退院支援ナビの活用を阻害する要因の分析
実施責任者	所属・職名： 7 南病棟・看護師
	氏名： 行本 尚史
研究の概要	心不全は、良くなったり悪くなったりを繰り返しやすい病気です。退院後も健やかな生活を送り、再入院を防ぐためには、お薬の調整や体調のチェック、定期的な通院がとても大切になります。当院の 2 南病棟では、患者さんがスムーズに退院後の生活に移行できるよう、支援の道しるべとなる「心不全退院支援ナビ」というツールを取り入れています。しかし、導入のタイミングや、患者さん一人ひとりの状況に合わせたルールの運用において、まだ改善できる点があることが分かってきました。本研究では、過去にこのナビを利用した際の状況を調査し、どのような課題があったのかを分析します。この調査により、今後の看護の質を高め、患者さんがより安心して退院後の生活が送れるような支援体制をつくることを目的とします。
対象となる個人情報	電子カルテシステムにより情報を収集しますが、個人が特定できる情報を含みません。
実施の期間	西暦 2022 年 4 月 1 日より
	西暦 2024 年 3 月 31 日まで
研究対象	上記期間中に 2 南病棟へ心不全により入院治療となった患者さん